

キリンビール 2012年10月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル市場販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、プラス。定番商品である「一番搾り」「淡麗グリーンラベル」「のどごし〈生〉」もプラスとなった。
- ビール計は、プラス。
- 発泡酒計は、マイナス。
- 新ジャンル計は、微減。

《ビール》

- ◆「一番搾り」は、新食感の生ビール「一番搾りフローズン〈生〉」や「一番搾りフローズン〈黒〉」の発売効果もあり、プラス。特に業務用の樽が引き続き好調。
- ◆また、10月31日に発売した「一番搾り とれたてホップ生ビール」は、初回出荷数量がすでに年間販売目標の7割となるなど、好調に推移。

《発泡酒》

- ◆「淡麗」シリーズは、マイナスとなったものの、「淡麗グリーンラベル」はプラスで着地。

《新ジャンル》

- ◆7年連続売上げNo.1※1の「のどごし〈生〉」は、プラス。
※1 2005年「その他の雑酒②」、2006年~2011年「その他の醸造酒（発泡性）①」課税出荷数量による

《RTD》

- ◆「氷結」はスタンダードシリーズなどを中心に好調に推移したほか、「本搾り」が大幅プラス着地となり、RTD全体で約1割のプラス。

《その他》

- ◆“世界初※2、アルコール0.00%”の「キリン フリー」は、マイナス。引き続き「ゼロハイ」シリーズとともに、ノンアルコール飲料トータルで店頭を盛り上げていく。
※2 ビールテイスト飲料カテゴリーにおける。当社調べ

2. 洋酒販売動向

- ウイスキー計は、一部終売品の影響や、ハイボールブームで高い伸びとなった昨年の裏返しもあり、マイナス。

- ◆「富士山麓」は、3カ月連続でプラスと好調に推移。
- ◆「ジョニーウォーカー」は、累月でプラスを継続。
11月21日には、「プラチナムラベル18年」「ゴールドラベルリザーブ」を新発売。

以 上